

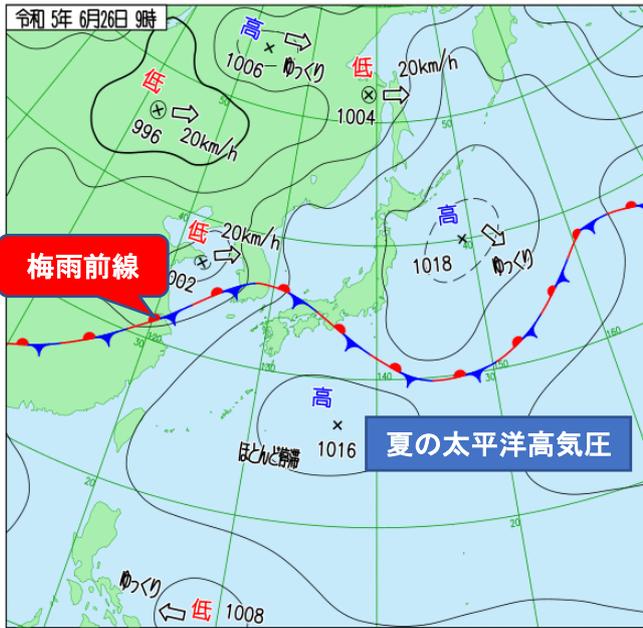
お天気解説

アキラのズバッと

沖縄で梅雨が明けると…

令和5年6月30日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡



図：天気図（6月23日09時）気象庁HPより

6月25日沖縄地方の、26日は奄美地方の梅雨明け発表がありましたね。これら地方で梅雨が明けると、関東甲信地方の梅雨は本番を迎え、大雨が降りやすくなります。

梅雨前線は、7月になると日本列島の真上に停滞します。そして、日本の南海上や中国大陸南部から湿った空気が日本の真上の前線に向かって入り込むと梅雨前線が活発になり、その近くでは発達した雨雲が連なり大雨が降りやすくなるのです。

では、東日本で起きた7月の大雨について振り返ってみましょう。

- 2021年… 平塚市で金目川が一部で溢れる。熱海で土石流。
- 2010年… 都内に浸水害。多摩川で男性が流され行方不明。[板橋豪雨]
- 1999年… 冠水した道路から水が地下室に流れ込み住民水死。[練馬豪雨]

2023年06月30日11時 気象庁 発表				
日付	今日 30日(金)	明日 01日(土)	明後日 02日(日)	
東京地方	雨後曇 	曇後雨 	曇時々晴 	
降水確率(%)	-/-/20/20	30/30/50/60	30	
信頼度	-	-	-	
東京 気温 (℃)	最高	30	32 (31~34)	
	最低	-	25	23 (21~24)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(週末は蒸し暑さが厳しそう・・・熱中症には警戒が必要です)

7月の大雨は西日本で発生する傾向が大きいです。都内でも局地的な大雨が起きているので注意が必要です。

道路の脇にある雨水ますの上に物が置いてあったり、落ち葉やごみでふさがれたりしていると、敷地や道路が冠水する原因になります。皆様の家のお近くの雨水ますの点検と清掃にご協力をお願いいたします。